

他社クラウドと比べた Aruba Central の優位性サマリ

安定・快適なネットワークに必要な要素

可視化



- ・ AIを使った自動解析と問題点の可視化と対応策の提示ができるか
- ・ 直感的な操作で問題までたどり着くことができるか
- ・ ネットワークの利用状況（負荷状況）、接続端末の可視化ができるか

調査力



- ・ 自動解析だけで原因が不明瞭な場合に、トラブルシューティングする手段を保持しているか
(詳細なログ、リアルタイムログの確認、パケットキャプチャ等)

対応力



- ・ 見つけた問題点を設定変更で解決することができるか
- ・ ネットワーク、Wi-Fiの機能で問題が発生しない、発生しにくいようにすることができるか

安定・快適なネットワークに必要な要素

可視化



Aruba	◎
他社	○

調査力



Aruba	◎
他社	△

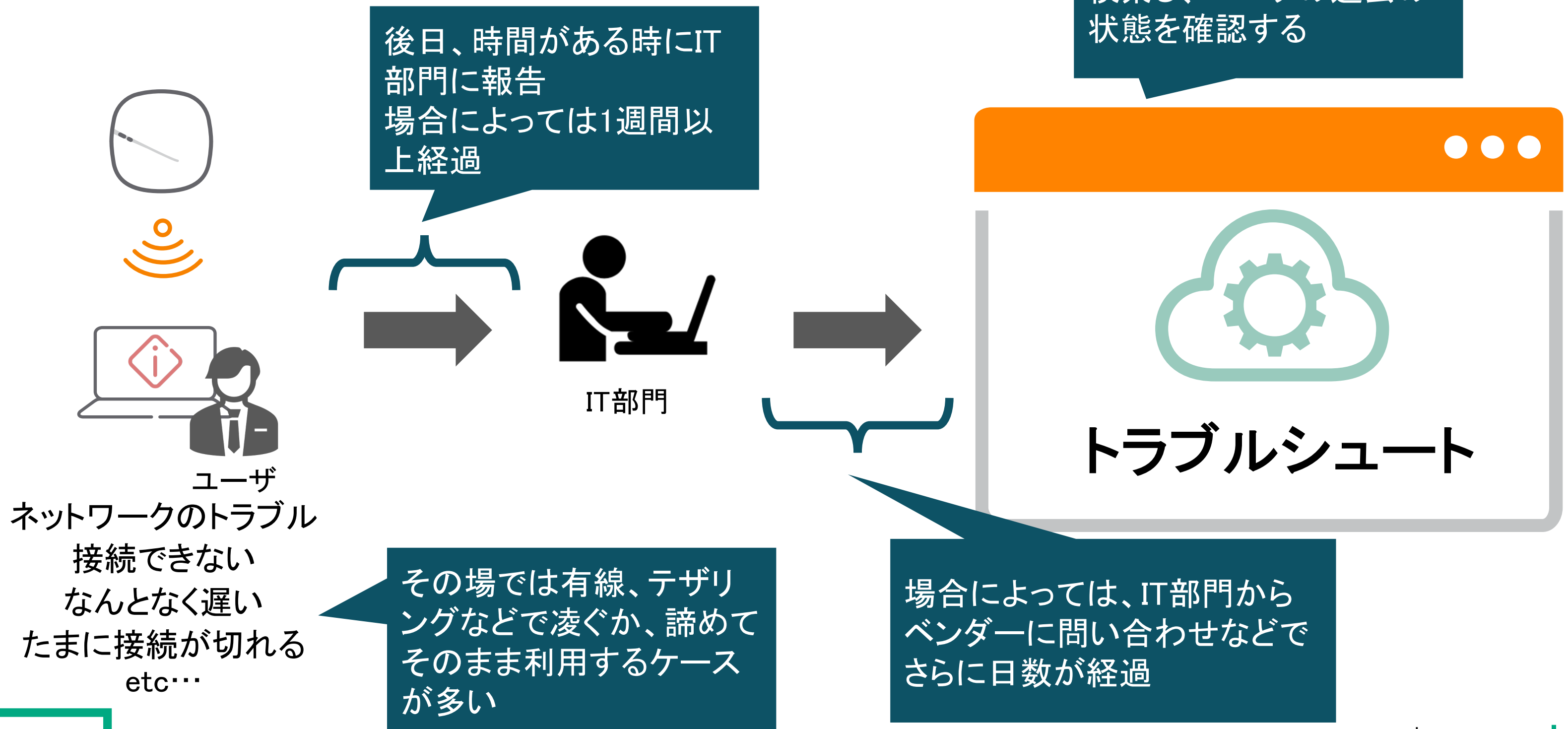
対応力



Aruba	◎
他社	✖



トラブルシューティングのよくあるステップ



Aruba Central での対応

ユーザIDで検索

williamjones

We found the following results:

Clients

Name: **williamjones@arub...**

williamjones@arub...

MAC: **b4:4b:d6:23:a...** IP Address: **10.128.49.156**

Status: **CONNECTED** Site: **Any Corp**

Client Type: **WIRELESS** Host Name: **SJC-207**

OS: **Windows**

Insights: ● 1 ● 0 ● 0

Additional Actions: Network Check, Live Events, Events, Locate

すぐに概要を表示

クライアント詳細

データパス: クライアント (williamjones@arubademo.net) → SSID (Any-Corp-Secure-SC) → AP (SJC-AP-West) → SWITCH (1/1/24) → ゲートウェイ (II-07-7210-155)

クライアント	ネットワーク	接続
ユーザー名: williamjones@aruba... ホスト名: SJC-207 IP アドレス: 10.128.49.156 グローバルユニキャストIPV6 アドレス: -- クライアントカテゴリ: Computer クライアント OS: Windows メーカー: IEEE Registration Au... AI インサイト: 0 0 0	クライアントタイプ: Wireless MAC アドレス: b4:4b:d6:23:a1:67 ローカルIPV6 アドレスをリンク: fe80::c1a6:15b4:6cdc... クライアントファミリー: Windows 接続開始日時: Aug 21, 2023, 14:33:21 暗号化: AES	VLAN: 3004 AP ロール: Any-Corp-Secure-SC ゲートウェイロール: authenticated セグメンテーション: OVERLAY 認証サーバー: -- トンネル: Yes

接続経路や詳細なアクセス情報を確認

AI インサイト

インサイト (1)

重大度	説明	カテゴリ	影響
高	クライアントはローミング中に高遅延を経験しました	接続 - Wi-Fi	53.85% のローミング

理由	推奨事項
クライアントは適切な AP を見つけられません	Enable 802.11k for SSID: Any-Corp-Secure-SC (2 more)
考えられる理由	クライアントに最新の WLAN ドライバがあることを確認します (2 more)
認証サーバーが遅い	RADIUS サーバーの CPU およびメモリ使用量を確認します (2 more)

ローミング (%) - 最近 1 週間

AIを使った原因と対策

最大30日前までの傾向を確認できる

他社クラウドは可視化どまり

- 可視化が得意だが、可視化止まり
- 問題が特定できたとしても対応策が無い
- ユーザIDから検索してといった調査には追加Subscriptionが必要
- AIのログは過去7日間のみ



Aruba vs 他社クラウドWi-Fi

項目	Aruba Central	他社クラウドWi-Fi
アーキテクチャ	<ul style="list-style-type: none">クラウド、オンプレ両方に対応クラウドは日本国内で運用大規模拠点にも対応 (AOS10 はAP Only も端末5000台まで対応)	<ul style="list-style-type: none">クラウドのみクラウドは海外で運用大規模拠点には向いていない (AP Onlyは端末2000台までが推奨)
運用 AIOps	<ul style="list-style-type: none">AIに限らず、ネットワークの状態を可視化検索機能が充実し、表示までがスムーズUser Centric の表示機能が多いベースライン比較が明確 他の拠点と比較しての異常検知が可能最大1ヶ月前の状態を確認解決策の提示と解決方法(設定)がある	<ul style="list-style-type: none">AIを使ったネットワークの問題点の可視化に特化検索機能が乏しいのに追加Subscriptionが必要Issue Centric の表示ベースライン比較が不明瞭 1週間の中で特質点を異常検知としている最大7日前までの状態を確認 毎日確認しないとトラブルシューティングができない解決策の提示が少ない
Wi-Fi	<ul style="list-style-type: none">全てのAPがWi-Fi Alliance の認定を取得Wi-Fi の基本機能、チューニング項目が豊富 (QoS, ClientMatch, Multicast最適化, Rate etc...)	<ul style="list-style-type: none">Wi-Fi Alliance の認定は一部のAPのみ (6E APは2023年8月で未取得)Wi-Fi の基本機能、チューニング項目がほとんどない
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none">ステートフルファイアウォールを使ったルールベースのアクセス制御を標準で実装不正AP, 不正クライアントの機能が充実	<ul style="list-style-type: none">ステートフルファイアウォールが無く、アクセス制御の機能が少ない不正AP、不正クライアントの機能はほとんどない
トラブルシューティング	<ul style="list-style-type: none">レポート、アラートの項目が豊富でカスタマイズも可能Live Events, Remote Console などトラブルシューティングの機能が豊富	<ul style="list-style-type: none">レポート、アラートが少ないレポートは追加SubscriptionでAruba Central に近づける

